



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：イスラム開発銀行グループおよびIMFによる支援 (1～3日付現地各紙)

1～3日付現地各紙は、ムルシー大統領就任後の対エジプト支援の動きについて報じている。

1. イスラム貿易金融公社 (ITFC) による支援

- (1) エジプト政府は1日、イスラム貿易金融公社 [ITFC, サウジアラビアを拠点とする公社。イスラム開発銀行 (IDB) グループの一つ] との間で、燃料および食料輸入に対する10億ドルの融資契約への署名を行った。
- (2) アブルナガ国際協力大臣は、ガンズーリ首相およびエッサイド財務大臣、ゴラブ石油大臣の同席の下、ワリードアブドゥルモハセン・アルワヒーブITFC総裁と署名を行った。同融資は以前エジプト政府との間で合意に至った25億ドルの融資の一部である。
- (3) ワリード・アルワヒーブ総裁は、ITFCが麦や石油のような戦略的備蓄供給を支援することでエジプト経済を後押しすることに意欲的であると述べた。
- (4) ムルシー大統領は2日、アブルナガ国際協力大臣の同席の下、ワリード・アルワヒーブ総裁と会談した。会談の際、1日に署名を行った物資供給局 (GASC) やエジプト石油公社 (EGPC) への10億ドルの融資について話し合うとともに、今後のITFCおよびIDBとの関係促進や、現段階でのエジプト経済支援の重要性について協議した。

2. IMFとの交渉

- (1) アムル・アブーゼイト自由公正党開発・金融アドバイザーは、自由公正党がIMFに対して交渉再開を打診する方針であると述べた。また同人は、IMFだけでなく世銀、イスラム開発銀行 (IDB) 他、あらゆるドナーからの支援について交渉の扉を開いていると述べた。
- (2) 他方、アハメド・エルナッガール自由公正党経済委員会メンバーは、IMFの借款受け入れを決断するのはムルシー大統領と新政府であり、1～2週間以内に決断できることはない、自由公正党はIMFの借款受け入れに反対しているわけではないが、まずは他に代替案がないかを確認するのが先決であると述べた。
- (3) IMFからの借款は、他のドナーからの融資を促すとともに、エジプト・ポンドの価値を支えるために外貨準備高が半減した後のエジプトを通貨切り下げの危機から救うために重要である。